

法華寺だより



慶祝新春

帯広法華寺住職
内山智洋

謹んで新春のお慶びを申し上げます。今年度も檀信徒各位と共に仏さまにご供養出来ましますように祈念致しております。
昨年は釧路市に於いて、日蓮聖人降誕八百年慶讃道東大会が開催され当山からも多数参加いただきました。皆様の日頃のご奉仕と御仏の功德によるものと感謝致しております。
本年は恒例の諸行事を恙なく執り行おうと共に、近年課題とな

つていました団参を計画中です。
四月の第三週に三泊四日で、小湊の誕生寺、池上本門寺、身延山久遠寺等を皆様と共に参詣致したいと考慮しております。具体化しましたらご案内申し上げます。
猶、昨年八月、母 内山スミの葬儀に際しましてはご厚情を賜り改めて感謝致します。本年も宜しくご厚誼お願い致します。
合掌

〇 弥勒 〇

「みろく」 弥勒というと、国宝第一号に指定された京都広隆寺の弥勒菩薩像を思い浮かべます。優しい顔立ち、頭には冠をかぶり、頬にたおやかな手を添えて何かを考えているようなお姿。
実はこの弥勒菩薩は、釈尊の次に仏となる菩薩（五十六億七千万年後）とされている。兜率天（とそつてん）からこの世に

仏教語

くらしの中の
下り人々を救う未来仏なのだそうです（今すぐにも姿を現して欲しいものですが……）。
弥勒というのはサンスクリット語で「マイトレイヤ」「情け深い」というそうです。
広隆寺の像は天人への説法の姿か、救い難い人間の悪業への憂いの表情か？

【仏教語散歩】

（さだまる新書）参照

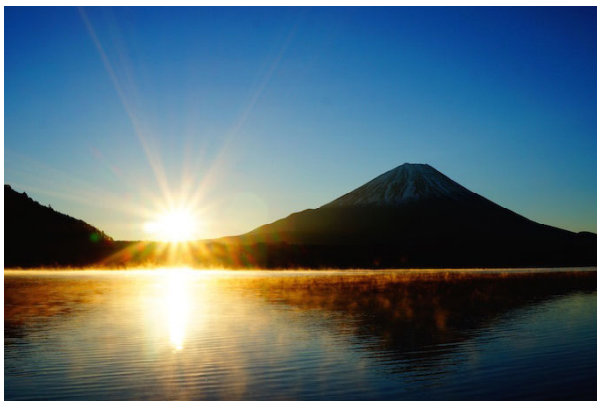
いざ挑戦 日蓮検定

小松原法難の際に殉教したと伝えられる日蓮の弟子は、次のどれか

- 1 .. 長英坊
- 2 .. 道善坊
- 3 .. 乗観坊
- 4 .. 鏡忍坊

（二級 その①）

初日の出



ご案内

- 一月
 - 元旦 新年祈禱会
 - 四日より 新春棚経
 - 十五日 毘沙門会、初お講
- 二月
 - 三日 節分・星祭り
 - 十五日 行学会



心といのちの相談所
老若男女幾つになっても悩みや心配事の絶えないもの
……ご来所やお電話を……
TEL 二二三四〇三三三

今月の聖語

ひやくにんせんになん
百人千人なれども
ひとこころ

一つ心なれば
かならこと じょう
必ず事を成ず

【成功の鍵は一致団結】
捨てがたい「我」を持つ
た者同士でも、相手を拝む
気持ちで互いの我を認め合
つたら、調和と発展の「大
我」が生まれるのではない
でしょうか

「異体同心事」より
日蓮聖人御遺文

覚書
十二月

八日 釈尊成道会・唱題行
十三日 行学会と合唱練習
二十七日 帯刑教誨



一休み

●「日蓮宗信行読本」より（拾い読み）
●第五章 日蓮宗の勤行

2 おつとめの内容 (一)
(1) 方便品と自我偈（ほうべんぼんとじがげ）

お釈迦様はたくさんのお経を説かれましたが、その
集大成として法華経は位置づけられています。その法
華経は全体が二十八品（章）で構成され、大きく前後
半に分けられます。前半を迹門と言い、その中心が方便
品です。後半を本門と言い、その中心が如来寿量品で
あり、自我偈はその中に在ります。
方便品は、人間お釈迦様が五十年間の伝道活動で様

「奉仕」に感謝

☆ 布薩会と婦人会 様 法会の諸準備、寺庭等の環境
整備等々、誠に感謝



々なことを沢山のの人に説かれました。しかし、
説く相手の心身の違い（理解力等）に応じた
方便であった。その方便によって苦しみを離
れ成長した人々は、私のような仏になる道へ
入れるのです。その教えが法華経であり中核
となるのが方便品なのです。
自我偈で、お釈迦様は自分は永遠の寿命を
持った仏であることを明かします。これを久
遠実成の本仏といい、仏教の中で登場する仏
は全てこの本仏の現れであると示されます。
私達の住むこの世界は、本仏の浄土であり、
私達はみ仏の子供であると説かれています。

法華経名句私撰

（方便品第三）

さんがい やす
三界は安きことなし、猶
かたく ごと しゅうくじゅうまん
火宅の如し。衆苦充滿して
はなは ぶい
甚だ怖畏すべし、

松本慈恵師の解説参照

この句も 欲令衆におさ
められている。
三界とは、「欲界」「色
界」「無色界」のこと。
この世界は安心して過ご
せるところでなく、火事で
燃えている家にいるような
もの。欲に包まれており、
その為多くの苦が充滿して
非常に恐ろしい

参照・引用

- ※日蓮聖人聖語カレンダー
- ※「日蓮検定」
- ※「日蓮宗信行読本」
- ※「法華経名句辞典」 松本慈恵
- ※日蓮宗新聞

編集後記

◆ 明けましておめでとうござい
ます ◆ 迎春吉祥 ◆ 謹賀新年 ◆ 恭賀
新年 ◆ 瑞祥新春 ◆ 迎春 ◆ 賀正 ◆ 頌
春 ◆ 新春 ◆ 寿春 ◆ 賀春 ◆ 初春 ◆ 年
賀状で用いられる四字や二字の挨拶
語を拾い出しました ◆ 今年は平
成から新しい元号へ ◆ 流した汗が報
われる新しい時代の始まりであるこ
とを祈念しています ◆ ♠ 山崎記 ♣